

光応用電磁界計測技術の最新動向 小特集(和文論文誌B)論文募集

光技術を用いた電磁界計測の研究・開発が行われています。これは、光ファイバを用いた信号伝送による高絶縁性や低損失性、電波領域の100倍以上の広帯域性、誘電体光学素子の利用による低じょう乱性などの特徴に着目したものです。また最近では、近接場領域やTHz帯域での電磁界計測にも適用範囲が広がっています。一方で、近年の電波利用の高度化により情報のマルチメディア化、通信や放送のブロードバンド化・ユビキタス化、及び計測の遠隔・自動化などの恩恵を受けていますが、その反面、電子機器の高性能化により不要電磁エネルギーの発生や機器相互間の影響のメカニズムが複雑化し、その解析と抑制を目的に光を用いた電磁界計測技術が期待されております。

以上のような現状を踏まえて、本小特集(平成26年3月号)では、最新の光応用電磁界計測の理論や光応用電磁界技術を用いた計測などを軸に様々な視点から論文を募集し、新たな研究成果を発掘することを目的に小特集を企画致しました。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野: 光技術を用いた電磁界計測に関する分野全て
マイクロ波フォトニクス, 光ファイバ応用工学, 光エレクトロニクス, マイクロ波工学, センサ工学, アンテナ計測, 環境電磁計測, 電子回路計測, 電気回路計測, 電力システム監視, THz帯計測, プラズマ計測, イメージング, レーダ電磁界計測システム, 光計測システム, 環境電磁計測システム, 光源, プローブ・センサ, 遠隔計測システム, 光ファイバシステム光信号伝送技術, 信号復元技術, 走査機械制御技術, 画像処理技術など

2. 論文の執筆と取扱い

- 通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおりhttp://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.htmlを御参照下さい。
- 査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

- **投稿締切: 平成25年6月10日(月) 厳守**
- 最終判定予定: 平成25年11月中旬
- 発行月: 平成26年3月号

4. 投稿方法

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送信されますので、メール内に記載のURLから「仮登録情報の修正/削除、電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、**必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。**

送付先:

電子情報通信学会 編集出版部 論文課
〒105-0011港区芝公園3-5-8 機械振興会館
E-mail: wabun-b@ieice.org FAX:03-3433-6616

5. 特集編集委員会

【委員長】陳 強 (東北大)
【編集幹事】大西輝夫 (NTTドコモ)
【編集委員】黒川 悟 (産総研), 村田 博司 (阪大), 藤井 隆 (電中研), 深沢 徹 (三菱電機), 岩波瑞樹 (NEC)

6. 問合せ先

大西 輝夫(株式会社NTTドコモ 先進技術研究所)
〒239-8536 神奈川県横須賀市光の丘3-6
Tel: 046-840-6230
E-mail: teruo.onishi@m.ieice.org

